

あごねつと便り

2014. 6

第5号



研修医2年目 玉岡 哲

横浜労災病院

出身：千葉県 出身大学：慶應義塾大学

今年度の横浜労災病院からの研修医トップバッターとして、この度平戸市民病院にて研修をさせていただきました。病院内での診療だけでなく、院外研修、更には平戸の美味をいただきながら、医師としての考え方を色々教えていただきました。平戸での経験を今後活かしていけるよう頑張ります。1か月ありがとうございました。



研修医2年目 久米 佐知枝

神鋼病院

出身：徳島県 出身大学：神戸大学

この度神戸から参り、6月の1か月間、平戸市民病院で研修させていただきました。平戸では、温かい患者さん、職員の方々のお蔭で、訪問診療・特定健診や離島研修など普段の神戸での研修ではできない貴重な経験を沢山することができました。今回学んだことを生かし、立派な医師になれるようがんばります。ありがとうございました。



研修医2年目 吉岡 遼

姫路聖マリア病院

出身：愛媛県 出身大学：岡山大学

毎日が充実しており、本当にあっという間の1か月間でした。学ぶべきことが非常に多く、有意義な研修を送らせていただきました。このような貴重な機会を与えてくださった全ての方々に感謝の気持ちでいっぱいです。平戸市民病院で学んだ「全人的医療」をこれからの診療に活かしていきたいと思います。

2014年6月、神戸・姫路・横浜から合わせて3人の初期研修医が地域医療研修として平戸市民病院に参りました。都会の病院や大病院では触れる機会の少ない地域に密着した医療を学ぶべく、力を合わせて研修生活に励みました。平戸にどっぷり浸らせていただいた1か月間の集大成として、本稿を執筆させていただきます。

外来や病棟業務では、特定の科だけに縛られず、様々な疾患の患者さんを診察させていただきました。身体診察やエコーの技術だけでなく、家庭医・総合医としての考え方も学びました。各先生方が世間話を交えながら良好なコミュニケーションをとり、患者さんから話を引き出していたのが印象的でした。



訪問診療や訪問看護・リハ、特定健診など、院外でも様々な形で平戸市の医療に携わりました。患者さんを取り巻く家庭やその地域の生活まで踏まえた医療の実践の難しさと同時に、チーム医療の大切さを改めて感じました。

仕事以外でも、病院対抗のソフトボールの試合に出させていただいたり、様々な地元の美味をいただいたり、非常に充実した日々でした。平戸市民病院の方々、平戸に住まれている方々のご配慮により、医師としてだけでなく一人の人間として貴重な経験を積ませていただきました。



平成 26 年 6 月 30 日

発行 ながさき県北地域医療教育コンソーシアム
<http://hekichi-byoinsaisei.net/>